

施設紹介



栈橋



浜



集合場所



会議室



テラス



サンデッキ

近隣施設・交通・食事の案内

近隣施設との連携

オーパルからの移動時間(バス利用)

体験学習施設

琵琶湖博物館 …… 約25分

比叡山延暦寺 …… 約25分

主要地点

おごと温泉 …… 約5分(徒歩15分)

琵琶湖大橋東詰 …… 約15分

大津市中心部 …… 約30分

近江八幡 …… 約50分

高島市 …… 約50分



近隣MAP

広域MAP

オーパルへの交通案内

主要ICと駅からの移動時間

バス (大型バス10台駐車可能)

1. 名神高速「京都東IC」より湖西道路経由で約20分

2. 名神高速「栗東IC」より約45分

3. JR京都駅八条口バスターミナルより約45分

電車

JR京都駅より約20分

湖西線「おごと温泉駅」下車徒歩で約15分

食事の案内

施設内のレストランにてランチBOXを提供しております。

問い合わせ先

オーパルオプテックス株式会社 体験学習等推進チーム

〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-265-1 TEL.077-579-7111 FAX.077-579-8135

Web <https://www.o-pal.com/> Mail biwako@o-pal.com



WEBはこちら!

2022.3.2000

びわ湖に学ぶ

修学旅行・校外学習 実施校へのご案内



びわ湖の自然に学び、子どもたちの「生きる力」を育む。

国の枠を超えたグローバル企業の台頭や世界中をつなぐ情報通信技術(ICT)の普及など、かつてない変革の波が次々と押し寄せる現代社会。教育現場でも、パソコンやタブレットの活用を進めるなど、学ぶ環境も大きく変化しています。

このような時代の子どもたちに必要となるのは、多様性を受け入れ、柔軟に物事をとらえて自ら進んで行動していく「生きる力」であると、私たちオーパルオプテックスは考えています。

びわ湖畔で企業活動を展開する私たちは、2000年より事業の一環として社会貢献活動を積極的に推進。次世代を担う子どもたちに「生きる力」を育んでもらうため、その基盤となる「学びに向かう力、人間性」や「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」の育成につながるさまざまな体験活動を提供しています。特に、教育現場における教科学習・修学旅行・校外学習などのサポートを当施設内で行い、毎年1万人を超える子どもたちが、「主体的・対話的で深い学び」を通じ、豊かな人間性や社会性を身に付けてくれています。

私たちスタッフ一同、びわ湖ならではの自然環境や水資源を活かし、より良質な体験活動のご提供をめざし、日々、創意工夫を重ねながら活動しています。新しい時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力を確実に育む機会として、当施設をご活用くださるようお願い申し上げます。

2022年3月

オーパルオプテックス株式会社 代表取締役 若林 勝
滋賀理科大学好き研究会会長 川崎 睦男 (元 滋賀大学教育学部 特任教授)



びわ湖畔という魅力ある自然環境を活かし、多彩なスポーツや環境・理科プログラムに加え、防災、プログラミング、チームビルドなど様々な学習機会を提供します。



ドラゴンボート



外来魚しらべ(つり)



ヨシ紙を使った笛づくり



防災



チームビルド



プログラミング

プログラム紹介

「非認知能力」とは 数値化できる学力とは別に、仲間と共に様々な体験・挑戦をすることで育まれる、協調性や自律性、やり抜く力や創造力などの能力を「非認知能力」と呼びます。目標に向かって頑張る力や他者とうまく関わる力なども含まれ、人生を豊かにする能力と言われています。

01 自然を学ぶ

びわ湖の水中の様子や生物を観察し、自然について学習します。

◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～6時間程度(内容により変動) ◎体験人数・・・20～300名

モデルプラン	1・2組	3・4組	5・6組
9:30	オーパル到着・開校式・荷物移動		
10:00	カヌーでヨシ帯観察	プランクトン観察	ドラゴンボート体験
11:00	休憩と移動		
11:10	ドラゴンボート体験	カヌーでヨシ帯観察	プランクトン観察
12:10	昼休憩(クラス写真撮影)		
13:00	プランクトン観察	ドラゴンボート体験	カヌーでヨシ帯観察
14:00	活動終了・着替え・閉校式		
14:30	オーパル出発		

〈屋外プログラム〉 カヌーでヨシ帯観察

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

1人乗りまたは2人乗りのカヌーを使い、自主性や協調性を育みます。カヌーで移動する機動性を活かし、ヨシ帯での自然観察を行います。湖面に近く、水中を観察したり、水のおいしさや水温を感じることができます。

〈屋内プログラム〉 プランクトン観察

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

びわ湖でプランクトンを採取し、顕微鏡で観察します。生物の宝庫であるびわ湖が、食物連鎖によって成り立っていることを学びます。生物多様性の重要性について考えます。

★他に「ドラゴンボート体験」や「外来魚しらべ」も人気プログラムです。

02 防災を学ぶ

自分の命を守る知識や、他者と支え合う力を自然災害時の対処方法と共に学びます。

◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～5時間 ◎体験人数・・・20～160名

モデルプラン	1・2組	3・4組
9:30	オーパル到着・開校式・荷物移動	
10:00	防災スポーツ体験	防災工作教室
11:00	休憩と移動	
11:10	防災工作教室	防災スポーツ体験
12:10	紙食器づくりと防災食体験	
13:40	活動終了・着替え・閉校式	
14:10	オーパル出発	

〈屋内プログラム〉 防災工作 風水害着せ替えゲームと段ボールチェアづくり

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

風水害時に自らの命を守る知識を、クイズ形式で学びます。また、実際に避難所で使われている段ボールを活用した簡易なイスを作成します。災害発生時、自分だけでなく周りの人と支え合う力を身に付けます。

〈屋内・半屋外プログラム〉 防災食 紙食器づくりと防災食体験

◎所要時間 90分 ◎体験人数 160名

災害時に使用される紙食器での食事を体験します。自分で作った紙食器に、食材を盛り付けて食事を体験を通し、避難先でありあわせの物を活用して、周囲のひとと支え合う知識を身に付けます。

★他に「防災スポーツ:ドラゴンボートと防災クイズ」も人気プログラムです。

03 非認知能力を養う

共同で目標達成をめざすチームビルドを行い、共生力や自律性などの非認知能力を養います。

◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～6時間 ◎体験人数・・・20～300名

モデルプラン	1・2・3組	4・5・6組
9:30	オーパル到着・開校式・荷物移動	
10:00	チームビルディング(ドラゴンボートでチームづくりなど)	非認知能力向上プログラム(カヌーで探究の種を探そうなど)
11:30	昼休憩(クラス写真撮影)	
12:20	非認知能力向上プログラム(カヌーで探究の種を探そうなど)	チームビルディング(ドラゴンボートでチームづくりなど)
13:50	休憩と移動	
14:00	チームビルディングの成果まとめ(ドラゴンボートレースなど)	
15:00	活動終了・着替え・閉校式	
15:30	オーパル出発	

〈屋外プログラム〉 ドラゴンボート体験

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

1艇約20人で漕ぐ船を使い、協調性を育みます。体験後にクラス対抗レースを設定し、クラスづくりを行うことが可能です。湖上では水鳥や水草などの観察を行います。

〈屋外・半屋外プログラム〉 非認知能力向上プログラム

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

自然素材を活かしたゲームや、仲間と協力してクリアする課題などを通して、協調性や表現力、創造性など数値化できない子どもの能力の向上を目指すプログラムです。指導者が子どもの様子に合わせ、課題設定を行います。

★他に「カヌー体験(1人乗りまたは2人乗り)」も人気プログラムです。

04 論理的思考を養う

実際にプログラミングを体験することで、複雑な事をシンプルに考える思考力を育てます。

◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～5時間 ◎体験人数・・・20～120名

モデルプラン	1組	2組	3組
9:30	オーパル到着・開校式・荷物移動		
10:00	プランクトン観察	カヌーでヨシ帯観察	プログラミング体験
11:00	休憩と移動		
11:10	プログラミング体験	プランクトン観察	カヌーでヨシ帯観察
12:10	昼休憩(クラス写真撮影)		
13:00	カヌーでヨシ帯観察	プログラミング体験	プランクトン観察
14:00	活動終了・着替え・閉校式		
14:30	オーパル出発		

〈屋内プログラム〉 プランクトン観察とプログラミング体験 (低学年向け)

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～40名

プログラミングソフト「ビスケット」を使ってプランクトンの作画と動きを体験します。別の時間に体験するプランクトン観察と連動し、プログラミングへの関心を高めます。びわ湖の環境を学びながらプログラミング的思考を身に付けます。

〈屋内プログラム〉 センサーの働きとプログラミング体験 (高学年向け)

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～40名

プログラミングソフトを使ってセンサーの働きを疑似的に体験します。プログラミングソフトを使ってセンサーでLED照明を点灯、センサーの仕組みを学びます。多くのセンサーが活躍する社会の仕組みを理解し、省エネや環境への関心を高めます。

★プログラミング体験はタブレット端末等の持ち込みが必要です。

プログラム紹介

05

創造力を養う

ヨシ紙などの自然素材を用いたものづくりを体験し、創造力を養います。

◎実施時期・・・通年 ◎所要時間・・・3～4時間 ◎体験人数・・・20～80名

モデルプラン	1組	2組
9:30	オーパル到着・開校式・荷物移動	
10:00	ヨシ紙笛づくり	プログラミング体験
11:00	休憩と移動	
11:10	プログラミング体験	ヨシ紙笛づくり
12:30	オーパル出発	

〈屋内プログラム〉

ヨシ紙笛づくり

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～40名

ヨシ紙を使って8音階出せる笛を作成します。ヨシが水環境にとって大切な植物であることを学び、環境保全について考えます。作ったヨシ笛を持ち帰り、事後学習に活用可能です。

〈屋内プログラム〉

ヨシ紙LEDランプシェードづくり

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～40名

ヨシ紙を使ってLEDランプシェードを作成します。ヨシが水環境にとって大切な植物であることを学び、環境保全について考えます。作ったヨシ紙ランプシェードを持ち帰り、事後学習に活用可能です。

※学校の教室と弊社施設を結ぶ遠隔地でのオンライン授業もご提案させていただきます。



施設外プログラム

比叡山トレッキング

びわ湖の源となる山々の自然と比叡山延暦寺の歴史や伝承文化を学びます。(ガイドが同行)

◎実施時期・・・3～12月 ◎所要時間・・・3～7時間 ◎体験人数・・・30～300名

モデルプラン	
9:30	延暦寺バスセンター集合/出発準備(安全指導・準備体操・トイレ)
9:45	出発/東塔エリア根本中堂から西塔、横川エリアへ
12:30	延暦寺横川駐車場にて解散(トイレ有)



1.自然に学ぶ

比叡山には多くの野生鳥類や植物が生息。山から流れる水と琵琶湖の生物との関係も学べます。



2.歴史を学ぶ

延暦寺は天台宗の教祖・最澄が開山した日本仏教の母山。至る所で歴史の足跡を感じられます。



3.協調性を育む

トレッキングは、やり抜く力や目的に向かい頑張る力、他者との協調性を育むプログラムです。

京都大原三千院
仰木雄琴I.C.
比叡山
JRおごと温泉駅
O'PAL
JR比叡山坂本駅
JR京都駅
京都東I.C.
琵琶湖

Attention!
トレッキングガイドが1クラス(約35名)に2名同行します!

※写真はイメージです。

安心安全への取り組み



指導スタッフの安全教育

- 管轄の消防署指導による心肺蘇生法等の「普通救命講習」を受講終了したスタッフが常駐しています。
- 安全確保のため、社内研修を実施しています。



危機管理マニュアル

危機管理マニュアルを作成し、水難事故の未然防止に努めています。また、事故発生時の救命体制を整えており、迅速な対応ができるように準備しています。
※危機管理マニュアルが必要な場合は、担当者にお申し付けください。



万が一の怪我等の事故に対する加入保険

傷害保険

死亡:500万円/人
入院:5千円/日
通院:3千円/日

賠償責任保険

1事故につき
・対人3億円迄
・財物100万円迄

※上記保険は当施設滞在中のみ適用されます。



安全な環境と施設

- びわ湖は海や河川と違い、波が穏やかで流れも少なく、危険な動植物も生息していません。
- 救護用の救命具・監視船を準備し、水難事故の未然防止と迅速な救護体制を備えています。



緊急時の近隣救急指定病院

琵琶湖大橋病院・・・TEL.077-573-4321

●オーパルより約5km:車で約15分

大津赤十字志賀病院・・・TEL.077-594-8777

●オーパルより約10km:車で約20分

大津赤十字病院・・・TEL.077-522-4131

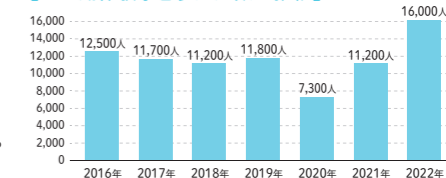
●オーパルより約12km:車で約25分



体験学習参加人数の実績

毎年1万人を超える子どもたちが、学校教育および生涯学習の一環として当施設で体験活動を行いました。

【びわ湖体験学習参加人数の推移】



体験学習Q&A

Q.1 体験時の服装や持ち物について



服装

- 1 帽子(熱中症対策)
 - 2 季節に合わせた濡れても良い服装(水着は不要)
 - 3 サンドル等濡れても良い履物
- 以上の3点を着用して体験します。

持ち物

- 4 飲み物(多めに持参)
 - 5 雨合羽(防寒着としても活用)
 - 6 メガネバンド(メガネをかけて参加の方のみ)
- 以上の3点を持参してください。



Q.2 雨天や荒天時の対応について



雨天の場合は、雨合羽を着用して体験します。晴れていても強風等の荒天の場合や雷鳴など天候の急変時は、安全確保のため水上活動を中止する場合があります。代替えプランについては弊社担当者にご相談ください。

Q.3 支援が必要な児童生徒の受入について



特別支援学級等の支援が必要な児童生徒について、原則として特別な対応は実施していませんが、可能な範囲でのお手伝いをさせていただきます(事例:カヌーは先生と2人乗りに変更、多目的トイレやエレベーター利用などのご案内)。詳しくは弊社担当者にご相談ください。

Q.4 怪我や体調不良などの緊急対応について



先生方のご協力をいただきながら弊社スタッフが対応します。救急搬送が必要な際は119番通報して救急車を要請します。現場で対応できる程度の怪我であれば備え付けの救急セットなどで対応しますが、体調不良の児童生徒は別室で休憩も可能です。病院へ搬送が必要な際は先生付き添いの上タクシー等をご利用ください。

Q.5 先生の役割と体験費用について



先生の体験費用は頂いておりませんが、学校内と同じく引率者として児童生徒の指導をご担当いただき、安全な活動実施のためのルール遵守指示、集合整列指示、体調確認などを重点的にお願いします。特に湖上体験前後の人数確認を必須としておりますので、先生が責任を持って確認の上、弊社スタッフへ体験開始の指示をしてください。